

# 中学生の「税」についての作文

小松島市では、納税意識の普及のために次代を担う中学生を対象にした「税についての作文」を募集しました。この中から最優秀賞である小松島市長賞を受賞された、園浦 結女さん（立江中学校3年）の作文を紹介します。

## 支え合い

立江中学校 3年

園浦 結女



そんなことを思っていたある日、私は、小学校の社会の授業を思い出した。

あと半年。あと半年で、私の九年間の義務教育が、終わってしまふ。少し、不安になっていた私は、「高校の授業料無償化」というタイトルの二ユースを目にした。

そして、授業料が無償化されたのは「税」のおかげということを知った。今までは、払わされているというイメージしか持っていなかったが、国民が納めた税金のおかげで授業料が無償化になると、なんだかうれしい気持ちになった。来年からの高校生活が楽しく送れそうだ。

日本国憲法に定められている国民の三大義務。「絶対に覚えましょうね。テストに出すけんな。」と先生が何度も言っていた。教科書にも真っ赤な線が引かれている。「テストに出る」と聞き、私は必死で暗記した。その成果が出たのだろうか、今では宙ですらすらと言える。勤労の義務、子どもにも普通教育を受けさせる義務、そして納税の義務だ。「納税って何？」と聞かれると、言葉の通り「税を納めること」と答えられる。しかし、「なぜ私たち国民には納税の義務があるの？」そう聞かれると、正直私は返答に困ってしまう。これがきっかけとなり、納税の義務について、調べ、考えてみた。

ある。税金は道路や学校などの整備や、高齢者のための年金保険その他警察や消防など、私たちの身の回りで姿を変え、私たちの生活をしっかりと支えてくれている。そして何より、学校に登校し、授業を受け、給食を食べ、部活で汗を流し、舗装された道を通って帰ることができるのもまた、税金の力である。そう考えると、私にも「納税の義務」の大切さは痛感できる。今はまだ、消費税としての、わずかな納税しかできない私たちが、将来、立派な納税者として社会に参加する頃には、もっと深くその意味や役割を理解し、納税者としての自覚を深めていきたいと思う。自分達の税金が、有意義に活用されるように、無駄遣いがないか、不公平感がないか、社会的弱者に対して温かい社会であるか、責任を持って考え行動できる大人になりたい。国民が汗水流して納めたかけがえのない税金を、真剣に考え正しく使える大人に……。

しかし、国民の中には、税金を滞納したり、うまく逃がれようとするとする人もいると聞く。国や自分たちの町を大切に思うなら、まず義務を果すべきだ。みんなが、気持ちよく納税するためにも。私は、これから先、たくさんの人に支えてもらっているという感謝の気持ち、誰かの支えになりたいという温かい気持ち、そんな支え合いの気持ちと共に継承し、明るい未来を作りたいと思う。みんな、支え合って。

※この作文は、本人の意見を尊重するため原文のまま掲載しています。

平成22年度の「税についての作文」優秀作品の表彰を受けた方は次のとおりです。（敬称略）

### ▼小松島市長賞

立江中学校3年 園浦 結女

### ▼審査員特別賞

小松島中学校3年 井原 千佳  
 坂野中学校2年 和田ほのか  
 立江中学校2年 井上 美波  
 立江中学校2年 数延美佐紀

### ▼入選

小松島中学校3年 柳原 祐美  
 小松島中学校3年 山西歩野花  
 小松島中学校3年 藤井 青空  
 坂野中学校2年 東 綾華  
 坂野中学校3年 棚橋ほのみ  
 立江中学校2年 池刈妃奈乃

## 広報こくみんなん金

# 成人式を迎えられた皆さん おめでとうございます



国民年金は、やがて訪れる長い老後や、生活の安定を損なうような万が一の事態に備え、保険料を出し合い、お互いを支え合う制度です。  
20歳になったら、忘れずに国民年金の加入手続きをしましょう！